

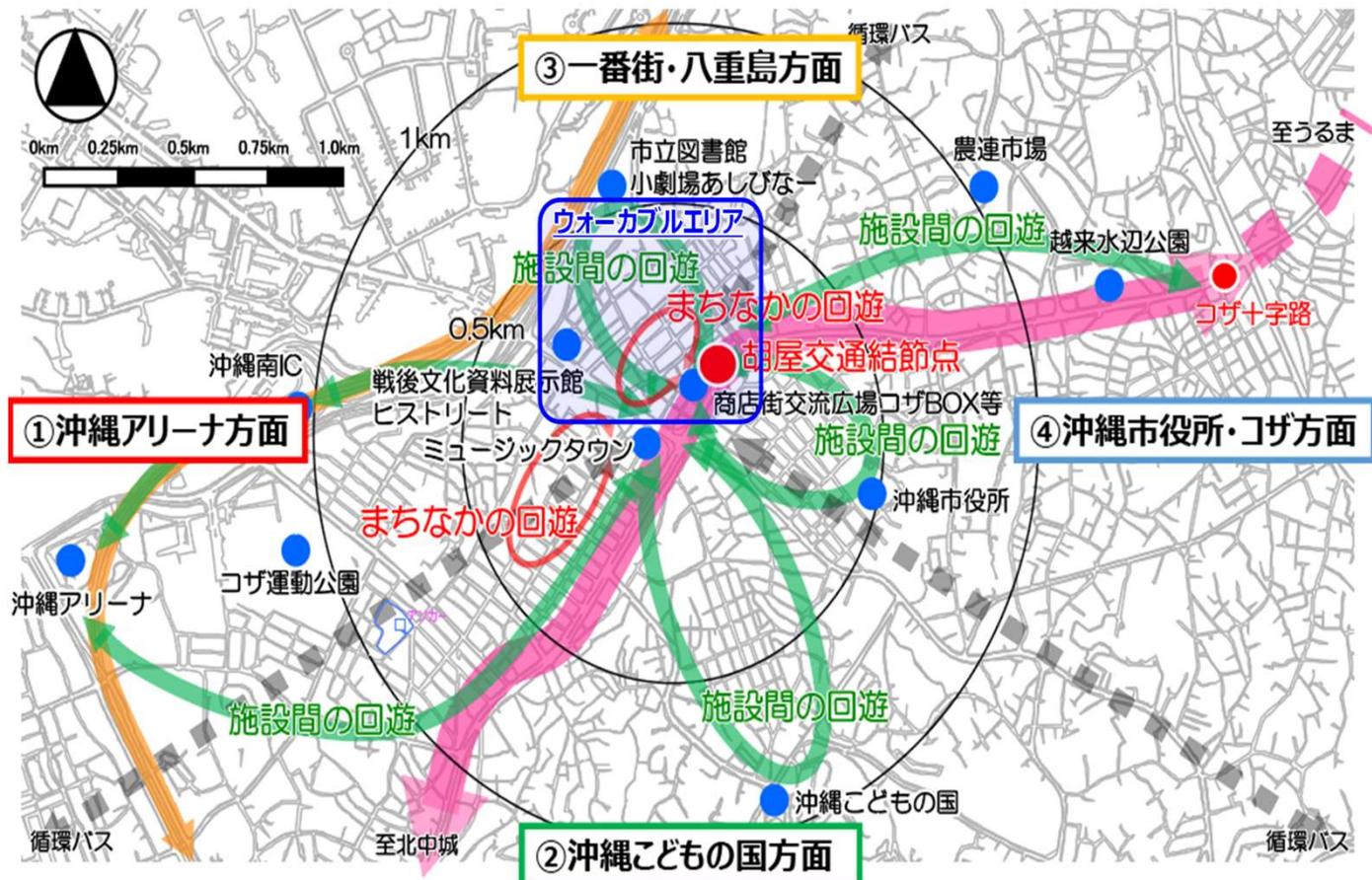
令和6年度 沖縄市交通拠点整備基本計画検討業務

1.業務の目的

- 本市では、国や県、関係団体等と連携し、本市等における現状及び課題等を踏まえ、交通拠点及び周辺エリアの機能配置及び、連携施策の検討を行い、沖縄市交通拠点整備基本構想を令和6年6月に策定した。
- 本業務では、これまでの経緯を踏まえ、地域住民等への機運醸成を図るとともに基本構想で位置付けた施策の実現に向け、交通拠点まちづくり基本計画(案)の検討を行った。

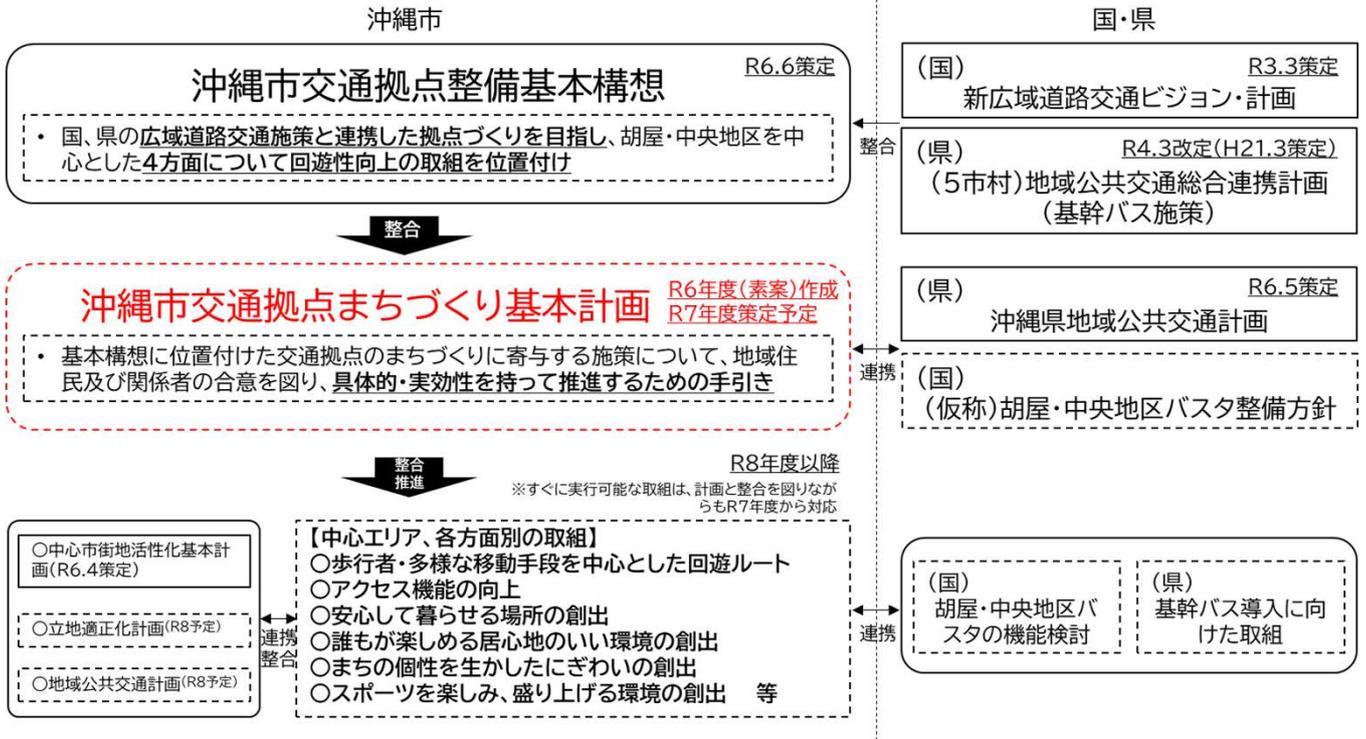
2.交通拠点まちづくり基本計画(素案)の対象区域

- 胡屋・中央地区交通結節点を中心に、沖縄アリーナからコザ十字路を含む4方面及びウォーカブルエリアを対象とする。



3. 交通拠点まちづくり基本計画(素案)の目的と位置付け

- 基本構想の取組を具体的・実効性を持って推進するための手引きとして作成、令和6年度は素案を作成、令和7年度に策定予定。



4. 交通拠点まちづくり基本計画(素案)の方針

沖繩市交通拠点整備基本構想

KOZAのみんなのでつくる活力に満ちたまち

- 【方針①】** だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり
- 【方針②】** まちとまちとの結びつきを強くする場づくり
- 【方針③】** まちなかの結びつきを強くする場づくり
- 【方針④】** KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり
- 【方針⑤】** より安全で安心なまちづくり

デザインコード(素案)

デザインコード1:
まちの骨格を生かした空間
沖繩市における商業景観軸、重点地区に設定されているコザゲート通り地区・くすの木通り地区が交わる重要なエリアであることを踏まえた空間の構築

デザインコード2:
小さな風景がつくるコザらしさ
地域に点在する様々な街の機能、特徴を結び、地域の生活や歴史や文化を感じることが出来る空間の構築

デザインコード3:
生き生きとしたまちの表情に溶け込ませる
商店街と一体となった新たな拠点の構築により、地域と調和した徒歩を中心とした人間スケールの空間の構築

デザインコード4:
多様性が絡み合う自由な空気感
地域の活動などの受け皿となるとともに、様々な人が憩い、佇むことが出来る居場所となる空間の構築

○コザらしさを育む ～地域の魅力向上～

- より長く滞在してもらえる安心感のある場所の創出
- 胡屋が有するユニークな歴史・文化・雰囲気を感じて訪れてもらえる場所の創出
- 住みたいと思う人が暮らせる場所の創出
- 様々な人のための交流、憩いの場の創出 ・地域イベントにも活用できる賑わいのための溜まり空間の創出
- 商店街の連鎖する豊かな歩き空間を活用した魅力の創出
- おもてなしを感じられる出迎え空間（ゲート等）の創出

○繋がる往来 ～都市間のアクセス機能の向上～

- 那覇市と沖繩市を結ぶ軸となる基幹バスシステムとの連携
- 路線バス、観光バス、高速バス、タクシー等との連携
- まちづくりと連携した駐車場施策の促進
- 行先が分かりやすい乗降場、上屋、待合所、デジタルサイン、インフォメーション等の整備

○まちを巡る ～地域内の回遊性向上～

- 点在する楽しみの拠点を結び、バス（路線、循環、シャトル）、タクシー、その他交通手段（シェアサイクル、高齢者用乗り物、観光用乗り物等）との連携
- 点在する楽しみの拠点を結び、歩いて楽しい（ウォーカブル）空間の創出
- 全ての人の居場所となるため、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進

○まちの顔 ～沖繩市が持つ個性的な空間づくり～

- 国際色豊かで地域と調和した街並みの形成
- KOZA（戦前・戦後の記憶、琉球文化等）が感じられる空間の形成
- 沖繩市独自の緑を活かした玄関口にふさわしい空間の形成（国道330号、パークアベニュー、ゲート通り等）

○安心を紡ぐ ～防犯・防災機能の向上～

- 防災情報（警報、注意報等）や交通機関の運行情報等の情報発信
- 一時避難場所としての待合所・広場の活用
- 安全・安心なまちの創出（防犯・交通安全）
- 沖繩アリーナとの連携 ・Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- 無電柱化

5. 基本計画(素案)における方面別取組の検討

交通結節点の効果を高めるため、方面別の取組について検討を行った。

○方面別取組(案)のイメージ

1. 沖縄アリーナ方面

1. スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性(商業・文化・歴史)を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

3. 一番街・八重島方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出



2. 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

4. 沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

○方面別取組(案)

方面	施策	取組案
① 沖縄アリーナ	a 歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	b 歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○ベンチ等小休憩場所の整備
	c アクセス機能の向上	○シャトルバス乗り場整備 ○タクシー乗り場整備 ○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置
	d 安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策
	e 誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出(周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出
	f まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○駐車場の整備、更新、連携
② 沖縄こどもの国	a 歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	c アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備
	d 安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策
	h 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出	○県外・県内からの観光客誘致 ○日本ユニークな施設への整備拡充

方面	施策	取組案
③ 一番街・八重島	a 歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備 ○ベンチ等小休憩場所の整備
	c アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○モビリティ・ハブの設置 ○駐車場の整備、更新、連携
	d 安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策
	e 誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出(周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出
	f まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○パークアベニュー整備事業(対面2車線化) ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○駐車場の整備、更新、連携 ○公園を活用したイベント
④ 沖縄市役所・コザ	a 歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	b 歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり
	c アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置
	d 安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策
ウォーカブル	f まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○商店街への誘客や交流促進 ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○公園を活用したイベント
	コザゲート通り	○統一された景観(アメリカン)
	一番街商店街周辺	○コザの音楽や歴史の継承 ○昔と新たな店舗が融合した商店街
	バスターミナル及び周辺	○住民の居場所づくり ○花やみどりにあふれたひとと中心の通り
	中央パークアベニュー	○人々が滞留する空間 ○分かりやすい案内整備
全体(ウォーカブル区域)	○バスターミナルを拠点にした回遊性の促進	

6. 方面別取組のイメージ

○方面別取組イメージ ※まちづくり基本計画(案)より一部を抜粋

a歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート

【歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり】

- ・ 来訪者が楽しく歩ける機能の充実を図ります。

道路空間イメージ(例:丸の内仲通り)



出典:官民連携まちづくりポータルサイト(国土交通省都市局HP)

○方面別取組イメージ ※まちづくり基本計画(案)より一部を抜粋

e誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【まちなか交流拠点の創出】

- ・ 様々なまちづくり関係者(行政、民間、学識等)が集い、まちづくりの取組が行える機能の充実を図ります。

まちづくり交流拠点イメージ(例:愛媛県松山市 松山アーバンデザインセンター)



7. ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

- 基本構想で位置付けたウォーカブルエリアに関して、ウォーカブルな環境づくりを推進するためのウォーカブル推進計画(案)の検討を行った。

コザゲート通り

取組案：歩きやすい空間整備

- ・アメリカンな通りとなるように統一された景観
- ・コザの音楽や歴史の継承
- 活用可能事業例：高質空間形成施設等 (まちなかウォーカブル推進事業)
- 事例：道路空間再配分、歩道に芝生広場等滞留空間設置

(花園町通り/愛媛県松山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通省)

全体(ウォーカブル区域)

取組案：街路空間の利活用

- ・オープンテラス席等が多くありにぎやかな雰囲気(バスターミナルを拠点に歩き回りたい空間)
- 活用可能事業例：滞在環境整備事業(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：店舗前にオープンテラス設置

取組案：地域住民主体の活動

- ・ゴミのポイ捨てをなくすため見まわり活動
- ・夜間のゴミ収集等の美化活動

(SAGA ナイトテラスチャレンジ/佐賀県佐賀市)
出典：さがデザイン

中央パークアベニュー

取組案：緑化空間の創出

- ・花やみどりにあふれたひと中心の通り
- 活用可能事業例：高質空間形成施設(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：沿道緑化、舗装整備

(本通商店街/広島県福山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通)

一番街商店街周辺

取組案：既存建築物の改修(リノベーション)

- ・昔からある店舗と新たな店舗が融合した商店街
- 活用可能事業例：エリア価値向上整備事業等
- 事例：空き店舗を活用した交流スペース整備

(もぶるテラス/愛媛県松山市)
出典：全国まちなかひろば研究会

取組案：空地(駐車場等)の利活用

- ・住民の居場所づくり
- 活用可能事業例：暫定利用等
- 事例：ウッドデッキや緑化が設置された暫定的な屋外広場

(新栄テラス/福井県福井市)
出典：空地等の新たな活用～空き地等の利活用に関する先進的取組～(国土交通)

バスターミナル及び周辺

取組案：休憩場所の創出

- ・人々が滞留する空間(待ち合わせ場所等)
- 活用可能事業例：滞在環境整備事業(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：路上停車帯にパークレット整備

(元町パークレット/神奈川県横浜市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通)

取組案：案内板・情報版の設置

- ・わかりやすい案内整備
- 活用可能事業例：地域生活基盤施設(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：デジタルサイネージ

(愛知県名古屋)
出典：Nagoya まちなかウォーカブル戦

取組案：シェアサイクル等の導入

- ・バスターミナルを拠点にした回遊性の促進
- 活用可能事業例：道路占用許可の特例等
- 事例：道路占用許可制度によるシェアサイクルポートの設置

ウォーカブル空間の方針1
コザを感じる歩いて楽しい“通り”づくり

コザはその歴史から異国情緒ある雰囲気を残し、様々な個性を持つ店舗が集まることで独特の魅力を有しています。これらのコザの魅力を活かし、歩くことを促す楽しい通りづくりを目指します。

ウォーカブル空間の方針2
個性あふれる歴史・文化の継承・発信

本市は「エイサーのまち」、「音楽のまち」であり、その中心がコザになります。また古くからある沖縄の歴史的な資源等が多く残されています。これらの文化・歴史資源を活かした魅力的な取組を進めるとともに、誇れる歴史・文化の継承と発信に取組めます。

ウォーカブル空間の方針3
だれもが楽しめる、居心地が良い場づくり

バスターミナルができることにより、地域の方や観光客等が訪れやすい環境が整います。誰もが訪れ歩きたい、ずっといたいと感じる居心地が良く楽しめる空間を創出します。

ウォーカブル空間の方針4
“すてき”と印象づける魅力あるまちづくり

多才な人材が集まり、オープンイノベーション拠点としてスタートアップが育ちやすい環境が進んでいます。また、バスターミナルができることでより多様な人々が訪れることとなります。「国際文化観光都市」の中心としてふさわしい、魅力あるまちづくりを目指します。

8. 連携施策の検討

○デザイン検討部会

- 本部会は、「沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会」(R6.10設置)の部会として、地域の歴史・文化・生活等の多様な視点を踏まえた機能やデザインを検討した。



第1回デザイン検討部会(R71.15 プラザハウス 3F会議室)

○デザインコードによる展開方針

- 展開方針1: 地域の居場所となり、地域の交わりを促し、地域を繋ぐ展開
展開方針2: 地域を体現する空間創出に向けた展開
展開方針3: 時間軸をとらえた実効性のある展開

コード1: まちの骨格を生かした空間

- 沖縄市における商業景観軸、重点地区に設定されているコザゲート通り地区・くすの木通り地区が交わる重要なエリアであることを踏まえた空間の構築



胡屋交差点



中央パークアベニュー

コード2: 小さな風景がつくるコザらしさ

- 地域に点在する様々な街の機能、特徴を結び、地域の生活や歴史や文化を感じることができる空間の構築



シアタードーナツ(地域の映画館)



プラザハウス・ストリート写真館

コード3: 生き生きとしたまちの表情に溶け込ませる

- 商店街と一体となった新たな拠点の構築により、地域と調和した徒歩を中心とした人間スケールの空間の構築



一番街商店街



トリップショットホテルズ・沖縄コザ

コード4: 多様性が絡み合う自由な空気感

- 地域の活動などの受け皿となるとともに、様々な人が憩い、佇むことができる居場所となる空間の構築



沖縄全島エイサー



中央パークアベニュー

○広場の考え方

- 広場の考え方について「様々な人たちが思い思いに楽しむことができる場所」を踏まえ、胡屋・中央地区周辺において、広場空間の必要性を踏まえ、全ての人の居場所となる空間構築を目指し、国と連携しながら取組を進める。



出所:「居心地が良く歩きやすくなるグランビルデザイン」

8. 連携施策の検討

○まちなか交流拠点の方向性

- デザイン部会の検討内容も踏まえ、まちづくりの拠点と、歴史や文化が融合したまちなか交流拠点の創出を目指す。(ヒストリート、図書館等の複合機能)



9. 機運醸成及び合意形成の取組

- 地域住民やまちづくり関係者の方々に、これまでの胡屋・中央地区の交通拠点まちづくりについての取り組みの説明と、専門家から居心地のよいまちづくりの取り組みについて講演いただき、交通拠点まちづくりの活性化に向けた機運醸成を図ることを目的に講演会・まちあるき・ワークショップを実施した。



10. 構想検討会の開催

- 令和6年度は2回の検討委員会を行った。

第1回(R6.10.2)
沖縄こどもの国チルドレンズセンター

第2回(R7.3.24)
沖縄こどもの国チルドレンズセンター



11. 今後に向けて

①方面別取組の更新

- 方面別取組の案を踏まえた関係機関調整、各方面に適した取り組みの追加検討等を行う必要がある。
- 胡屋・中央地区において広場空間の創出に向けて検討する必要がある。
- まちづくり交流拠点創出に向けて体制構築を検討する必要がある。
- 駐車場の利用実態の把握と、バスタと連携した活用方法を検討する必要がある。

②交通拠点まちづくり基本計画の策定

- 交通拠点整備まちづくり基本計画の策定に向けて関係者との合意形成を図り、実現性を有する計画を目指す。

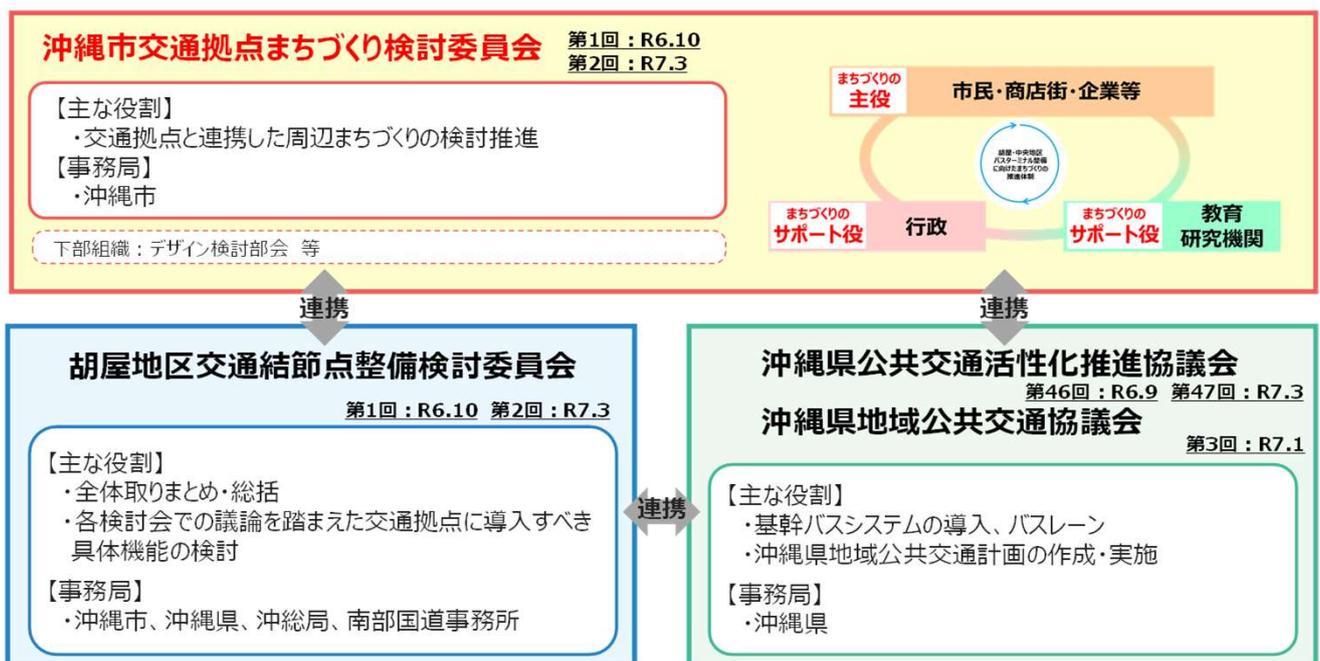
③交通拠点まちづくりの機運醸成

- 令和7年度以降も、引き続き、交通結節点整備の実現に向けて地域や商店街、まちづくり関係者の機運醸成等の取組を継続しつつ、参加者に分かりやすいよう、講演内容や配布資料等の工夫を行っていく。

④ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

- 関係機関との調整、現地での実証実験を踏まえながら取組を推進していく必要がある。

■胡屋地区交通結節点整備検討委員会・公共交通活性化推進協議会との連携・役割分担



【問い合わせ先】 沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当 TEL:098-989-9135